

---

## 20. 眠れる石蔵をコミュニティの拠点として再生する

加世田石蔵活用委員会  
(鹿児島県加世田市)

---

### Ⅰ. 活動の背景と目的

#### 1) 活動の背景

1997年、1998年と鹿児島県加世田市にて開催された「サイクルアートギャラリーかせだ」の準備の際に、市内に点在する石造りの蔵がスタッフの目に留まり、作品の展示施設およびコンサート会場として使用したところ、思いがけぬ効果を発揮した。イベント開催時だけでなく、恒常的に使用可能な施設として、石蔵を再生し、コミュニティの活性化に役立てたいという声が市民の間で高まり、「サイクルアートギャラリーかせだ」の運営を行ったプロジェクト「南からの潮流」を母体とする「加世田石蔵活用委員会」設立に至り、活動を開始した。

#### 2) 活動の目的

「委員会」の活動の目的は、市内に点在し、現在は活用されていない石蔵を、行政、所有者と協同で整備し、石蔵を活用したコミュニティづくりを推進することである。

今回のプロジェクト「眠れる石蔵をコミュニティの拠点として再生する」は、津貫地区の石蔵に焦点を当て、各方面からの調査を行い、この石蔵が津貫地区のコミュニティの拠点と成りうるか検討することを目的としたものである。

### Ⅱ. 活動の内容

#### ●石蔵の基礎調査

外観、内部構造を調査し、実測を行った。

#### ●石蔵周辺の環境調査

観光資源、自然資源等、石蔵周辺の歩行調査を行った。

#### ●石蔵所有者へのヒアリング

J A南さつまの中島常務理事にお会いして、所有者としての石蔵使用の方針や意向に関するヒアリングを行った。また、それをふまえて、「委員会」としての以下のような活用アイデアを提出した。

##### ①「道の駅」の分館的役割

- ・ J Aのアンテナショップとして地域の農産物／加工品の販売
- ・ 加世田市及び周辺地域の観光案内（パンフレット、地図などを設置）

##### ②インターネットのホームページを開設



津貫石蔵 (サイクルアートギャラリーかせだの展示場所として使用)

- ・地域の紹介（アクセス情報、見どころ、特産品案内）
- ・インターネットショッピング（農産物／加工品を全国各地へ通信販売）

### ③その他

- ・石蔵オリジナル商品の開発  
（特産品を材料にした菓子類等、ex. かぼちゃのタルト、きんかんのムースなど）
- ・レストラン／カフェ機能（特産品を材料にした料理、飲み物、菓子類を提供）
- ・文化施設の役割（映画上映会、写真展等）
- ・将来的には、ルーラルツーリズム／グリーンツーリズムのセンター的役割  
（ex. ミカン狩り、体験農業、トレッキング等の情報提供）

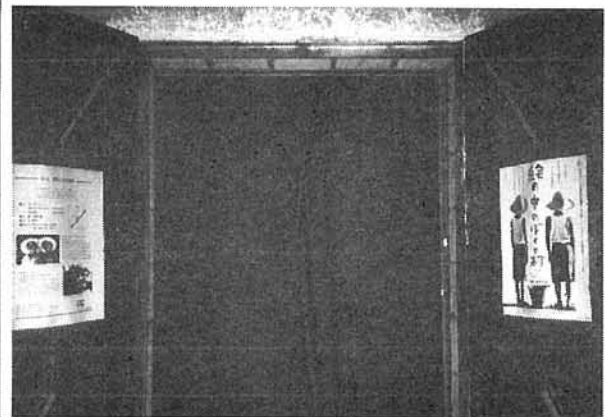
### ○美術展覧会／映画上映会の開催と適性調査

1999年10月から11月にかけて開催された「サイクルアートギャラリーかせだ1999」において、アーティスト、池田一氏の作品「水主共和国／加世田」の展示場所として津貫石蔵を使用し、美術展の会場としての適性を探った。

また2000年3月には映画上映会「津貫石蔵映画会」を実施し、映画館としての適性を探った。子供向けの映画を一本と高齢者向けの映画を一本、合計二本を上映し、いずれも盛況で好評だった。



サイクルアートギャラリーかせだ



津貫石蔵映画会

### III. 活動の効果および今後の課題

今回のプロジェクトにより、津貫石蔵の調査はひととおり終了し、その適性もほぼ明らかとなった。

美術の展覧会会場としては申し分なく、照明のための電気設備を用意すれば、現状のままでも使用が可能であり、展示する作品は、絵画、彫刻等の立体物、インスタレーション等、種類を問わず、効果的であることがわかった。

しかし、石蔵の9.2メートルという奥行きは映画上映には不向きであり、映画のスクリーンの大きさがやや小さくなってしまったのが残念だった。また、1998年に実施したライブコンサートでは気にならなかったが、今回の映画上映会では、音響がくぐもった感じに聞こえたのが気になった。映画上映を行う施設として使用するには、部屋を二つに分けている壁を抜き、奥行きを確保する必要があるだろう。

今回のプロジェクト内では実現できなかったが、この調査結果を踏まえ、より具体的な

企画立案と、工事予算の見積もりをはじめ、より現実的な石蔵活用計画を加世田市と所有者に提出し、また、他の石蔵の可能性も探りつつ、コミュニティの活性化を推進してゆきたいと考えている。